

News Release

プルデンシャル生命保険株式会社

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-10 プルデンシャルタワー
<http://www.prudential.co.jp>



Prudential

2008 年 10 月 9 日

プルデンシャル生命保険株式会社

東京消防庁より優良証を授与 生損保初、約 2400 名の普通救命講習受講で

プルデンシャル生命保険株式会社（本社 東京都千代田区永田町、代表取締役社長兼最高経営責任者 三森 裕）は本日、弊社の普通救命講習受講に対して東京消防庁より感謝状および本社に対し優良証を授与されましたのでお知らせします。

普通救命講習は消防署の指導のもと、基本的な応急手当に加え、AED（自動体外式除細動器）の操作方法を学ぶもので、現在までに弊社では全国 65 事業所（本社および支社）で、全社員約 4,000 名の約 6 割にあたる社員 2463 名が受講しました。

東京消防庁の優良証の発行は①100 名以上の事業所において、②3 割以上が救命講習を受講し、③「応急手当普及員」*資格取得者がいること、の 3 点をすべて満たすことが条件で、生損保業界では弊社が初めて授与されました。本社のほか、東京都下の 15 支社（東京第一支社、東京第四支社、東京第五支社、東京第八支社、首都圏第二支社、首都圏第三支社、首都圏第四支社、首都圏第六支社、首都圏第八支社、麹町支社、一番町支社、千代田支社、上野支社、立川支社、町田支社）も本社のチェーン店とみなされ、優良証を授与される予定です。

弊社では昨年、創業 20 周年の社会貢献事業として、本社および全国の社員とその家族が普通救命講習を受講しました。受講を決定した背景には、近年、子どもが野球やサッカーをしている最中に、ボールが胸にあたり、心臓しんとうを起こすという事故の発生が増えていること、この心臓しんとうによる心肺停止状態からの蘇生に AED が効果的であり、操作方法を学びたいという社員の声があがったことがあります。これに加えて、AED を全国 72 の子どものスポーツ団体などに寄贈しました。これらの寄贈先は弊社社員がボランティアとして関わる団体で、普通救命講習で救命に必要な知識や技能を身につけた社員が AED をより有効に活用できるとの考えから決定しました。

このたびの優良証の授与にあたって、東京消防庁麹町消防署署長の海藤 芳和様から「東

京消防庁では、一般市民に広く応急手当の技能を身につけてほしいと、普通救命講習の推進に努めています。プルデンシャル生命が会社を挙げて普通救命講習の受講に取り組んだことは、同社社員の救命に対する意識を向上させるのみならず、普通救命講習の普及に貢献するものであり、同社の今後の活動に期待します」とのお言葉をいただいております。

弊社社長の三森 裕は「弊社は創業以来“人間愛・家族愛”という人間の不朽の原理の実現を基本理念に掲げており、社員一人ひとりが自発的にボランティアに取り組む風土があります。今般の優良証の授与を励みに今後もさまざまな社会貢献活動に社員一丸となって取り組んで参りたいと思います」と述べています。

*「応急手当普及員」：日本で消防機関による応急処置技能の普及を支援し救命講習を教授する人員またはその資格。

以上